

令和 9 年度
学 生 募 集 要 項

学校推薦型選抜



国立大学法人 **鹿屋体育大学**
National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

令和9年度入学志願者の皆様へ

「こども性暴力防止法」の施行に伴う学外実習参加等に関するお知らせ

令和 6 年 6 月に「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」(以下「こども性暴力防止法」という。)が成立し、令和 8 年 12 月 25 日に施行されます。

この法律は、学校や保育所、学習塾など、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。本法の施行により、学外実習等に参加する学生の皆さんにも影響が生じることから、以下の点をお知らせいたします。

- 1, 学校等での実習及び、児童等と接する諸活動前の犯罪事実確認について
「こども性暴力防止法」の施行以降、学校等での実習及び、児童等と接する諸活動を行う前に、法に基づき「犯罪事実確認」が行われる可能性があります。特定性犯罪前科が確認された場合、実習及び諸活動への参加は認められません。
- 2, 卒業要件に含まれる学外実習が行えない場合について
特定性犯罪前科が確認され、卒業要件に含まれる学外実習に参加できない場合には、卒業要件を満たさず卒業できない可能性があります。
- 3, 教育実習が行えない場合について
特定性犯罪前科が確認され、教育実習が行えない場合、教育職員免許状の取得要件を満たさず、教員職員免許状を取得できない可能性があります。
- 4, 入学後の対応について
本学では、入学後、全学生を対象に、「同意書(犯罪事実確認に関する同意)(様式〇〇)」及び「誓約書(特定性犯罪前科がない旨の誓約)(様式〇〇)」の提出へのご協力を依頼する予定です。
また、教育実習等の児童等に接する諸活動に参加する前にも、「誓約書」の提出へのご協力を依頼する予定です。
なお、これらの提出書類は、個人情報保護法に基づき適切に取り扱います。

参考:制度の詳細はこちらをご覧ください。

- こども家庭庁 HP「こども性暴力防止法(学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律)」

リンク:<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

<本件に関する問い合わせ先>
鹿屋体育大学
教務課キャリア支援係
TEL:0994-46-4866

目 次

1	学部, 課程及び募集人員	1
2	推薦要件	2
3	選抜日程	2
4	選抜方法	3
5	出願方法	6
6	出願書類等の提出先及び照会先	12
7	受験票のダウンロード及び印刷	12
8	受験者心得の案内	12
9	試験場	12
10	合格者の発表	13
11	学校推薦型選抜不合格者の取扱い	13
12	入学手続・入学料等	13
13	入学手続についての留意事項	13
14	障害のある者等の事前相談	14
15	個人の入試情報の開示請求方法	14
16	学生宿舎について	15
17	その他	15
◆	問い合わせ先	15
◆	入試情報の提供	15
◆	本学までの主な交通経路	16
◆	鹿屋体育大学位置図	17
◆	入学前教育について	17
◆	ノートパソコン必携化について	17
◆	本学が求める外国人留学生の日本語能力について	17
◆	競技歴調書記入要領	18
◆	推薦書記入要領	21

【選抜日程等】

インターネット出願登録期間	令和8年10月26日(月)～11月5日(木)15時
出 願 書 類 提 出 期 間	令和8年11月2日(月)～11月5日(木)
選 抜 日 程	令和8年11月19日(木)・11月20日(金)
合 格 者 発 表 日	令和8年12月1日(火)
入 学 手 続 期 間	令和9年2月10日(水)～2月17日(水)

※インターネット出願サイトによるマイページ登録については, インターネット出願登録期間前に実施することが可能です。

入学料特別免除制度

「国際大会並びに全国大会における競技成績優秀者」を対象とした入学料免除制度を設けております。

令和9年度 鹿屋体育大学学校推薦型選抜学生募集要項

鹿屋体育大学の使命・教育理念

1981年に開学した国立大学唯一の体育系単科大学である鹿屋体育大学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりの分野において実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー・指導者を養成することを使命とし、本学のエデュケーションを核に、社会人としての豊かな教養の涵養や将来を展望し、勤労観・職業観を醸成しつつも、体育学に関してあらゆる専門性の深化と充実を目指します。

アドミッション・ポリシー(AP)求める学生像

- ① 体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生
文系・理系に偏ることのない基礎学力を身に付けている学生
また、自分の得意分野の実技能力を身に付けている学生、あるいは、スポーツ、武道、体育及び健康づくりの未来を切り拓く力がある学生
- ② 自己表現ができる学生
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ、武道、体育及び健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- ③ 新たな課題に挑む意欲のある学生
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

入学試験の基本方針

- ・ スポーツ・武道の分野で高い競技能力を有し、将来トップレベルの競技者になりうる資質について、課程別に指定した実技検査により判断します。
- ・ スポーツ、武道、体育及び健康づくりを指導・普及させるための基礎的な知識、また指導・普及における課題に対する思考・判断・表現力について小論文により判断します。
- ・ スポーツ、武道、体育及び健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて面接により判断します。

なお、学校推薦型選抜においては、下記のと通りの強化競技を選定しております。

陸上競技、体操競技、水泳、バスケットボール(女子)、サッカー(男子)、テニス、バレーボール(女子)、野球、海洋スポーツ(セーリング、ローイング)、自転車競技、柔道、剣道

1 学部、課程及び募集人員

学 部	課 程	募 集 人 員
体 育 学 部	スポーツ総合課程	52人
	武 道 課 程	15人
合 計		67人

スポーツ総合課程

トップレベルのアスリートの育成や科学的サポート、ジュニア期からの一貫指導、生涯にわたるスポーツ・健康づくりのコーディネートなどに関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、自身の進路選択により講義や実技を履修することができます。

武道課程

武道に関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、武道に関する講義や実技(柔道、剣道)を必ず履修することになります。

上記を参考に課程を選択してください。

2 推薦要件

学校推薦型選抜に出願できる者は、次の(1)～(5)のすべてに該当する者としてします。

- (1) 次の各号のいずれかに該当する者で出身学校長が責任を持って推薦し得る者(既卒者については卒業後1年以内)
 - ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (注) 学校教育法施行規則第150条第7号(大学において、個別の資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの)により出願しようとするものは、事前に本学の個別の入学資格審査を受ける必要があります。出願に先立ち、令和8年8月17日(月)までに教務課入試係へ問い合わせてください。
- (2) 本学が定めた令和9年度の強化競技において、高等学校若しくは中等教育学校在学中に以下のいずれかの競技成績を有する者。(詳細は18頁以降の「◆競技歴調書記入要領」を参照してください。)

◎強化競技:[スポーツ総合課程]

陸上競技, 体操競技, 水泳, バスケットボール(女子), サッカー(男子), テニス, バレーボール(女子), 野球, 海洋スポーツ(セーリング, ローイング), 自転車競技

[武道課程]

柔道, 剣道

① スポーツ総合課程

(個人競技)

- ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者
- ・公式ランキング16位以上の競技成績を有する者
- ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者
- ・ブロック大会の種目別・団体総合ベスト8以上の競技成績を有する者(テニス, 体操競技, 駅伝)

(団体競技※)

- ・全国大会又はブロック大会に出場した競技成績を有するレギュラーメンバー
- ・ブロック単位での優秀選手, 強化選手

※ 団体競技とは、バスケットボール(女子), サッカー(男子), バレーボール(女子), 野球の競技を指します。

② 武道課程

- ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
- ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
- ・ブロック単位での優秀選手, 強化選手
- ・金鷲旗高校柔道大会又は玉竜旗高校剣道大会において連続15人以上勝ち抜いた者

- (3) 当該スポーツ・武道の分野においてその活動を継続し、競技力の向上に努める者
- (4) 調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- (5) 本学の教育課程を履修するための学力を有する者

3 選抜日程

試験日時 課程名	11月19日(木)			11月20日(金)
	9:00～10:00	10:30～17:00		8:30～17:00
スポーツ総合課程	小論文	面接	健康調査 (対象者のみ)	実技検査
武道課程				

4 選抜方法

学校推薦型選抜は、出身学校長の推薦に基づき、本学が行う試験(小論文、面接及び実技検査)の成績、調査書、競技歴調書及び推薦書の内容を総合して選抜します。

なお、大学入学共通テストは課しません。

合否判定の基本方針

- ① 競技歴審査及び実技検査の評価の高い者から合格とします。
なお、同評価の者が複数いた場合には、面接、小論文及び調査書審査の結果の順に判断します。
- ② 次の事項に該当する者については、不合格とします。
 - ア 小論文の結果が5段階のうち「1」の者
 - イ 面接の結果が5段階のうち「1」の者

(1) 本学が行う試験(小論文、面接及び実技検査)

① 小論文

本学の教育を受けるにふさわしい資質をみるため、競技スポーツ、生涯スポーツ、武道、健康・体力等の領域から600字程度の小論文を課します。

【採点・評価基準】

理解力・思考力・表現力等について総合的に5段階で評価します。

② 面接

本学の教育を受けるにふさわしい適性をみるため、複数の面接員による7分程度の個人面接を行います。

【採点・評価基準】

競技意欲、学習意欲について質問し、積極性、計画性、独創性の観点から5段階で評価します。また、それらの回答全体から品格、マナー、課題解決力についても5段階で評価します。

③ 実技検査(専門競技検査)

下記のとおり課程別に指定した専門競技を専門とする者について、各専門競技のそれぞれの評価の観点について総合的に100点満点で評価します。

○スポーツ総合課程

次表の専門競技の中から1競技を選択してください。

専 門 競 技	検 査 内 容	評価の観点
陸 上 競 技	次の種目のうちから1種目を選択し、その選択した種目について、競技会形式で実施します。なお、選択種目毎に、基礎運動技能についても検査を行います。 (男子) 100m, 400m, 800m, 3000m, 110mH, 走高跳, 走幅跳, 三段跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投, 混成(注) (女子) 100m, 400m, 800m, 1500m, 100mH, 走高跳, 走幅跳, 三段跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投, 混成(注) (注) 混成を選択した場合、共通種目としてハードル(男子: 110mH, 女子: 100mH), 槍投, 400mの3種目と、選択種目として走高跳又は走幅跳のいずれか1種目、合計4種目について実施します。	ア 検査種目の記録 イ 技術 ウ 身体的適性 エ 将来性
体 操 競 技	次の全種目における基本技術と各自の自由演技について実施します。 (男子) ゆか, あん馬, つり輪, 跳馬, 平行棒, 鉄棒 (女子) 跳馬, 段違い平行棒, 平均台, ゆか	ア 技の正確さ, 大きさ, 力強さ イ 技の調整力, リズム, 流動性 ウ 将来性

専 門 競 技		検 査 内 容		評価の観点
水	泳	次の競泳種目のうちから1種目を選択し、その選択した競泳種目の希望する距離について実施します。 自由形(50m, 100m, 200m, 400m) 平泳ぎ(100m, 200m) 背泳ぎ(100m, 200m) バタフライ(100m, 200m) 個人メドレー(200m, 400m)		ア 泳力 イ 泳法 ウ 将来性
バスケットボール(女子)		次の各項目について実施します。 体力測定, シュート, 1対1の攻防, 5対5の攻防		ア 体力 イ シュート力 ウ 攻防の技能 エ ゲームの組立 オ 将来性
サッカー(男子) (フットサルを除く)		次の各項目について実施します。 基本技術(ボールコントロール, ドリブル), 対人技術(1対1・4対4の攻防), 身体適性能力(シャトルラン)及びゲームでのポジション別専門技術		ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術 エ 将来性
テニス		次の各項目について実施します。 ゲーム(シングルス及びダブルス), 体力測定(5方向走)		ア 基礎技術 イ 応用技術・戦術 ウ 体力 エ 将来性
バレーボール (女子)		次の各項目について実施します。 ジャンピングサーブ, トス, 3対3ゲーム, 連続ジャンプ(270cmの高さを30秒×3回)		ア 体力 イ 基礎技術 ウ 戦術判断 エ 将来性
野	球	次の項目について実施します。 ・基本技能(キャッチボール) ・体力(投球速度測定, 打球速度測定, 30mタイム測定) ・技術(シートノック, バッティング又はピッチング)		ア 基本技能 イ 体力 ウ 技術 エ 将来性
海洋スポーツ (セーリング)		次の競技のうちから一つを選択し、選択した競技の各項目について実施します。		
		ヨット	一人乗りディンギー(ILCA6級)の艀装・解装, チューニング, 帆走(レース形式)	ア 体力 イ 基礎技術 ウ 応用技術 エ 資質 オ 将来性
			【悪天候時】 一人乗りディンギー(ILCA6級)の艀装・解装, チューニング, 体力テスト	
		ボードセーリング	ボードセーリング(テクノ293クラス)のセッティング, リグ部のチューニング, 帆走(レース形式)	
【悪天候時】 ボードセーリング(テクノ293クラス)のセッティング, リグ部のチューニング, 体力テスト				
海洋スポーツ (ローイング)		次の競技のうちから一つを選択し、選択した競技の各項目について実施します。		
		ボート	2000mローイングエルゴ漕 200mダッシュ漕	ア 漕記録 イ 体力 ウ 漕技術 エ 将来性
		カヌー	500mカヌーエルゴ漕 100mダッシュ漕	
自転車競技		次の各項目について、いずれも自転車エルゴメータを用いて実施します。 ①5秒間全力ペダリングテスト②40秒間全力ペダリングテスト③持久性ペダリングテスト		ア ペダリング記録 イ ペダリング技術 ウ 将来性

○武道課程

次表の専門競技の中から1競技を選択してください。

専 門 競 技	検 査 内 容	評価の観点
柔 道	次の各項目について実施します。 受け身 打ち込み・投げ込み・固め技の基本など(連絡変化技を含む。) 乱取り	ア 柔道の基本動作 イ 基本的投げ技・固め技技能 ウ 応用的投げ技・固め技技能 エ 実践的技能・戦術 オ 将来性
剣 道	次の各項目について実施します。 日本剣道形(太刀の形 1本目～7本目) 切り返し 試合(稽古)	ア 剣道形の作法・所作・理合 イ 切り返しの理法と習得 ウ 基本と応用の統合性・打突行動 エ 将来性

(注) ア 出願後は実技検査競技の変更を認めません。

イ 受験する実技検査競技に適する服装・履物を必ず持参してください。ただし、文字やマークによりチーム(学校)名を特定できるユニフォーム・道衣等の着用は禁止します。

ウ 競技用シューズを用いてよいですが、体育館シューズ及びグラウンドシューズは、区別してください。

エ 自転車競技を選択する受験者は、体育館シューズに加え、競技用シューズと互換性のあるペダルを、各自が持参してください。

オ 柔道衣、剣道具類、稽古着・袴等は、各自が持参してください。

カ ゼッケン(縦18cm×横25.5cmの白布に、受験番号の末尾3桁を記入したもの)を2枚作成し、ユニフォームの胸と背中にそれぞれ縫い付けておいてください。ただし、次の競技については、以下のとおりとします。

- ・陸上競技:ゼッケンの取扱いについては、後日案内する「実技検査(陸上競技)受験上の注意」を参照すること。
- ・体操競技:男子は試合用ランニング、女子は試合用レオタードの背中に縦10cm×横15cmのサイズのゼッケンを1枚縫い付けておくこと。
- ・柔道:柔道衣の背中に1枚縫い付けておくこと。

なお、水泳、野球、ヨット、ボードセーリング及び剣道を選択する受験者は、ゼッケンの用意は不要です。

キ 実技検査当日は、実技検査を受験できる服装に着替えてきてください。なお、着替えてくるのが難しい競技については、更衣室を当日指示しますが、更衣後の衣服等を整理するために、袋やバッグ等を用意してください。

ク 受験にあたっては、各自事前のトレーニングをしておいてください。

ケ 検査順序・検査内容及び方法に関する説明は、試験当日行います。事前の問い合わせには一切応じません。

コ 詳細は、後日案内する受験者心得を参照してください。

(2) 出身学校が作成する書類(出願書類)

① 調査書

出身学校長により作成された調査書を審査の対象とします。

【評価内容】

学業成績、就学状況、部活動やボランティア活動等をみます。

② 競技歴調書(成績・記録を証明する資料を含む。)

本学所定の様式に出身学校長等が詳細に記入してください。なお、記入に際しては、競技歴調書記入要領を参照してください。

【評価内容】

競技者としての実績、成果をみるために、各競技大会における成績を評価します。

③ 推薦書

本学所定の様式に出身学校長が具体的に記入してください。

(3) 健康調査

実技検査の安全を期するため、受験者全員に健康調査票を提出していただきます。本調査は実技検査を安全に実施することを目的としており、結果が合否判定に影響することはありません。

なお、健康調査票により試験当日の健康調査が必要と認められる者(当日お知らせします。)については、試験当日に問診と心電図等の検査を行います。

また、試験当日に父母等関係者の方へ連絡をとる場合がありますので、必ず連絡がとれる状態にしておいてください。

ア 整形外科的な外傷や障害のため医療機関から活動制限を指導されている者

整形外科的な外傷や障害のため医療機関から活動制限を指導されている者は、その病名及び活動制限に関する内容を含む診断書を、その他の出願書類と一緒に提出してください。

イ 内科及び外科的な疾患に伴い、定期的に医療機関を受診し、検査や治療を継続している者

内科及び外科的な疾患に伴い、定期的に医療機関を受診し、検査や治療を継続している者は、スポーツ活動の制限の有無や、病状及びこれまでの治療経過に関する診断書を、その他の出願書類と一緒に提出してください(但しアレルギー性鼻炎・結膜炎やアトピー性皮膚炎は除く。)

上記事項に関する質問がある場合は、本学へお問い合わせください。

また、出願後に、脳しんとう及び上記にあたる外傷・障害や疾病を発症した場合、本学に電話での相談をお願いいたします。

5 出願方法

学校推薦型選抜の出願は、インターネット出願で行います。

インターネット出願サイト:<https://e-apply.jp/ds/nifs-k/>

(1) 出願期間

■インターネット出願登録期間及び入学検定料払込期間

令和8年10月26日(月)～11月5日(木)15時

■出願書類提出期間

令和8年11月2日(月)～11月5日(木)

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

② 郵送の場合は11月5日(木)17時15分必着とします。

(注)出願期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

(2) 入学検定料

17,000円

お支払い方法については、「(3) 出願の流れについて」をご確認ください。また、入学検定料の支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、出願に必要な書類の印刷及び提出を出願書類提出期間に行う必要がありますので、ご注意ください。

なお、下記の場合以外は、既納の入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

ア 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合

該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続きを行ってください。

イ 入学検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合

ウ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は所定の金額より多く払い込んだ場合

上記イ及びウについては、本人の申し出により納入された入学検定料又は超過分を返還することができますので、必ず令和8年11月18日(水)までに教務課入試係(電話0994-46-4869)へ連絡してください。

(3) 出願の流れについて

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるように
しておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など
詳細は学生募集要項を参照



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/nifs-k/>

または、

大学ホームページ

<https://www.nifs-k.ac.jp/examinees/>

からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
「**マイページへ**」を
クリックしてください。

⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ

② 入試選択と留意事項の確認

③ 志望学部等の選択

④ 顔写真のアップロード
「**写真選択へ**」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥ 出願内容の確認
「**入学願書(サンプル)**」ボタンを
クリックすると入学願書が確認できます。



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1 ※ 収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※ 確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



**申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。**

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなかも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

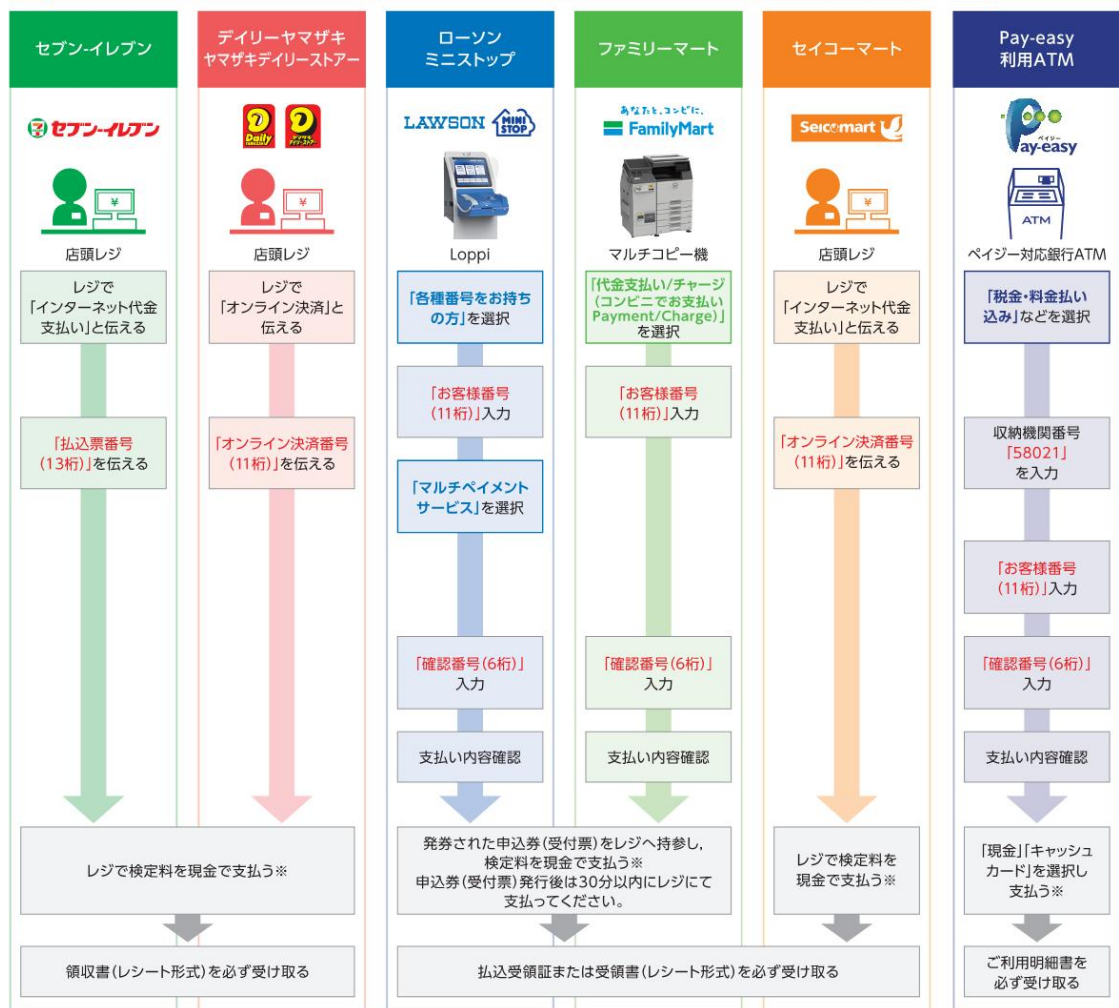
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

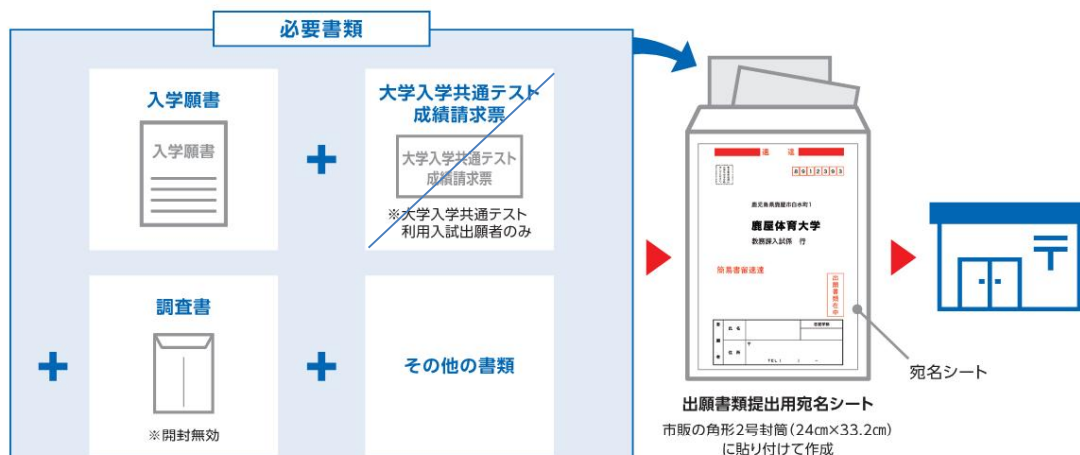
STEP

6

必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願登録, 入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し, その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送または持参してください。※出願締切日の17時15分必着。



送付先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1
鹿屋体育大学 教務課入試係 行

■出願書類

詳細は学生募集要項を確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「入学願書」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「入学願書(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「入学願書(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学願書の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後, 入学検定料を支払い, 必要書類を郵送(持参)して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届けなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし, 出願登録及び入学検定料の支払いは出願締切日15時まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど, 施設によって異なります), 必要書類の郵送(持参)は出願締切日の17時15分必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票・受験者心得の印刷

本学で出願を確認後, 各入試毎に試験日の1週間前を目途に一斉に受験票及び受験者心得を配信します。インターネット出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので, 必ず印刷し, 内容を確認のうえ, 試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票及び受験者心得のダウンロードが可能になりましたら, 出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



(4) 郵送・提出が必要な書類等について

入学検定料の支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、出願に必要な書類の印刷及び郵送・提出を出願書類提出期間に行ってください。

郵送(必着)または持参が必要な出願書類等は以下のとおりです。

●インターネット出願サイト入力後にダウンロードできるもの

各自でダウンロード・印刷してください。

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	出願登録を行った後にダウンロードできる様式を印刷(A4片面)し、出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。
宛 名 シ ー ト	出願書類等郵送用として、市販の角形2号封筒を事前にご用意ください。 出願登録を行った後にダウンロードできる宛名シートを印刷(A4片面、カラー)し、準備した封筒の表側に貼り付けて、切手を貼付の上、郵便局の窓口から郵送又は持参してください。

●ホームページに様式を掲載しているもの

本学ホームページ(<https://www.nifs-k.ac.jp/admission/faculty/exam/recommendation/>)へアクセスし、ダウンロードの上、記入してください。

出 願 書 類 等	摘 要
競 技 歴 調 書 (成績・記録を証明する資料を含む)	本学所定の様式により、出身学校長等が作成したものを出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。作成に当たっては、必ず競技歴調書記入要領を参照してください。(A4片面)
推 薦 書 【要厳封】	本学所定の様式により、出身学校長が作成し、 <u>厳封したもの</u> を出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。(折曲可)(A4両面長辺とじ)
実技検査受験に係る同意書 (出願時)	本学所定の様式により、必要事項を記入の上、出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。(A4片面)
健 康 調 査 票	本学所定の様式を印刷(A4両面、長辺とじ)し、必要事項を記入の上、出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。(裏面の署名欄への自署は必須です。)
経 費 支 弁 書 (外国人留学生のみ)	本学所定の様式により、必要事項を記入の上、出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。(A4片面)

●各自で事前に用意するもの

インターネット出願サイト入力前にそれぞれご準備ください。

出 願 書 類 等	摘 要
顔 写 真 デ ー タ	インターネット出願サイトへの登録時に必要となります。上半身、無帽、正面向き、背景無地で提出前3か月以内に撮影した鮮明な写真を準備してください。データファイル形式はjpeg, png, bitmap, gifとし、ファイル容量は10MBまでとします。 なお、以下のような写真は使用できません。 ・髪の毛が目にかかっている ・背景がある ・目をつむっている ・アプリ等で顔を加工している ・マフラーやサングラスを着用している
調 査 書 【要厳封】	文部科学省が定めた様式により、出身学校長が作成し、 <u>厳封したもの</u> を出願書類提出期間内に必ず到着するように提出してください。 なお、廃校・被災その他の事情により調査書の提出が困難な場合は、別途提出の指示を行いますので、出願期間前までに教務課入試係へ連絡してください。

出 願 書 類 等	摘 要
診 断 書 (右記①又は②に 該当する者のみ)	①整形外科的な外傷や障害のため医療機関から活動制限を指導されている者は、その病名及び活動制限に関する内容を含む診断書(様式任意)を提出してください。 ②内科及び外科的な疾患に伴い、定期的に医療機関を受診し、検査や内服を継続している者(但しアレルギー性鼻炎・結膜炎やアトピー性皮膚炎は除く。)は、スポーツ活動の制限の有無や、病状及びこれまでの治療経過に関する診断書(様式任意)を提出してください。
出席率に関する証明書 (外国人留学生のみ)	日本国内の日本語教育機関等に在籍にする者または在籍していた者については、当該機関における出席率を証明する書類を提出してください。(様式任意)

6 出願書類等の提出先及び照会先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学教務課入試係 T E L 0994-46-4869 F A X 0994-46-2533 E-mail nyushi@nifs-k.ac.jp
--

7 受験票のダウンロード及び印刷

- (1) 大学から受験票の発送は行いません。以下の受験票印刷開始日時以降にインターネット出願サイトにログインの上、各自で印刷してください。なお、受験票の印刷が可能になったら、インターネット出願サイトに登録したメールアドレス宛てに通知が届きます。

受験票の印刷開始日時:令和8年11月13日(金)10:00(時間は前後する場合があります。)

- (2) 受験票に関する注意事項

- ① 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、「6 出願書類等の提出先及び照会先」へ11月16日(月)17時までにご連絡ください。
また、パソコン等に表示された受験番号と、印刷後の受験番号が一致していることを必ず確認してください。
- ② 受験票印刷開始日時以降に印刷ができない場合は「6 出願書類等の提出先及び照会先」へ11月16日(月)17時までにご連絡ください。
- ③ インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。
- ④ 必ず印刷した受験票を持参してください。スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。
- ⑤ 受験票は、大切に保管しておいてください。

8 受験者心得の案内

受験票の2頁目以降に、受験上の注意事項等を記載した「受験者心得」等についても掲載いたします。また、座席表等の資料も本学ホームページ(<https://www.nifs-k.ac.jp/>)上に掲載いたしますので、受験票と一緒にダウンロードの上、必ず事前に確認するようにしてください。

9 試験場

鹿屋体育大学

所在地:鹿児島県鹿屋市白水町1番地 TEL:0994-46-4869

試験場については、16・17頁の位置図等を参照してください。

10 合格者の発表

令和8年12月1日(火) 10時

本学ホームページ(<https://www.nifs-k.ac.jp/>)上で、「合格者受験番号一覧表」を発表するとともに、合否照会専用サイトからも確認できます。

また、出身学校長宛てに当該受験者の選抜の結果を郵送します。

なお、合格通知書については発行いたしません。また、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

合否照会専用サイト:<https://www.gouhi.com/nifs-k/>

11 学校推薦型選抜不合格者の取扱い

学校推薦型選抜の結果、不合格となった者は、一般選抜の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

なお、本学の受験に当たっては、「令和9年度鹿屋体育大学一般選抜(前期日程)学生募集要項」(令和8年11月中旬公表予定)を確認の上、再度出願手続を行ってください。

その際、入学検定料17,000円はあらためて必要となります。

12 入学手続・入学料等

入学手続きはweb入学手続きにて行います。web入学手続きサイトで入学手続期間内に完了してください。入学手続きに係る案内は、入学前教育に関する書類と併せて送付いたします。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利が消滅するので注意してください。

(1) 入学手続期間 令和9年2月10日(水)～2月17日(水)とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日(振替休日を含む。)は受付を行いません。

② 郵送の場合は2月17日(水)17時15分必着とします。

(注) 入学手続期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮してください。

(2) 入学料等学生納付金

① 入学料 282,000円 (予定額)

② 授業料 前期分 267,900円 (//)

年 額 535,800円 (//)

ア 入学料及び授業料については、予定額をお知らせしています。改定があった場合には、随時お知らせします。

イ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

③ 諸経費(体育会費、学生教育研究災害傷害保険料、スポーツ安全保険料、同窓会会費等)

83,100円(令和8年度入学実績)

令和9年度の諸経費の詳細については、令和9年1月中旬頃に公開する入学ガイドブックをご確認ください。

(注) ア 入学手続完了者が令和9年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により諸経費を返還します。なお、入学料については返還しません。

イ 入学料・授業料及び諸経費の納入方法については、令和9年1月中旬頃に公開する入学ガイドブックをご確認ください。

ウ 入学料・授業料の納付が著しく困難な者には、入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除の制度があります。

詳細については、令和9年1月中旬頃に公開する入学ガイドブックをご確認ください。

エ 本学では、「国際大会並びに全国大会における競技成績優秀者」を対象とした入学料特別免除制度を設けております。入学料特別免除の決定者には、本学より別途通知します。

13 入学手続についての留意事項

(1) 本学の学校推薦型選抜合格者が、入学を辞退しようとするときは、その理由を明記した「学校推薦型選抜入学辞退届」(様式自由:当該者の推薦を行った出身学校長本人が作成したもの)を令和9年2月17日(水)までに本学学長へ提出し、入学辞退の許可を得なければなりません。

(2) 本学の学校推薦型選抜合格者で、令和9年2月17日(水)までに入学手続を完了した者は、他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の一般選抜を受験することはできません。受験しても合格者とはなりません。

- (3) 本学の学校推薦型選抜合格者で、令和9年2月17日(水)までに入学手続を完了しない者は、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。この場合(「入学辞退届」を提出した者を除き)、国公立大学・学部一般選抜(個別学力検査等)を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (5) 入学手続については、「大学入学共通テスト受験票(大学入学共通テストの出願をした者のみ)」を必要とするので、紛失しないよう注意してください。
- (6) 入学手続については、合格者に対して送付する入学手続に係る案内で確認してください。

14 障害のある者等の事前相談

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)のある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、令和8年10月9日(金)までに、あらかじめ本学に電話で相談してください。

15 個人の入試情報の開示請求方法

(1) 開示内容

本人に開示する入試情報は、試験成績です。

(2) 開示請求登録期間

入試成績開示請求登録は、インターネット出願サイトにて出願登録と同時に行う必要があります。出願登録時に「入試成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。出願登録期間以外に開示請求登録を行うことはできませんので、注意してください。

(3) 開示期間

令和9年4月16日～5月15日

(4) 開示請求者

志願者本人に限ります。(代理人による請求は認めません。)

(5) 成績開示手数料

1選抜ごとに600円を徴収します。入学検定料の支払い時に合わせてお支払いください。

(6) 開示の方法

入試成績開示はオンライン上で実施します。

開示期間中は、インターネット出願システムにログインの上、個人成績を確認できます。詳細については、本学ホームページの「メニュー」→「入試情報」→「入試情報(共通事項)」→「個人成績の開示請求」で確認してください。

(7) 開示手数料の返還

下記の場合以外は、既納の開示手数料はいかなる理由があっても返還しません。

ア 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合

該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。

イ 開示請求手数料を振り込み後、本学に出願しなかった場合

上記イについては、本人の申し出により納入された開示手数料は返還することができますので

必ず令和8年11月18日(水)までに教務課入試係(電話0994-46-4869)へ連絡してください。

(8) その他の注意点

① 上記開示期間外における成績開示は行いません。

② 返還請求期限を超過した場合、開示手数料の返還には一切応じかねます。

③ 郵送、電話、メール及び教務課入試係の窓口での開示請求については受け付けません。

16 学生宿舎について

学生宿舎への入居を希望する者は、本学ホームページ(学生宿舎の入居者(新入生)募集についてのページ/令和9年1月上旬公開予定)へアクセスし、入居申請に必要な書類をご確認の上、下記の入居申請受付期間内に申請書類を提出してください。

(1) 入居申請受付期間

令和9年1月25日(月)～2月17日(水)

(2) 申請書類等の提出方法および窓口

①提出方法:持参又は郵送

※郵送の場合は、封筒の表に「学生宿舎入居申請」と朱書きしてください。

※入試の出願書類、入学手続き書類とは封筒を分けて提出してください。

②書類送付先及び受付窓口:〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学 学生課生活支援係

窓口時間:8時30分～17時15分

電 話:0994-46-4889

メー ル:gaku-s3@nifs-k.ac.jp

(3) 選考結果通知

令和9年3月9日(火)10時

本学ホームページ(<https://www.nifs-k.ac.jp/>)上で、入居許可となった者の受験番号と入居する棟の部屋番号を公表します。

その後、令和9年3月10日(水)に、提出された通知用封筒にて許可者には許可通知書(入居手続き関係書類を同封)、不許可者には不許可通知書を発送します。

(4) 入居開始日

令和9年3月29日(月)～令和9年3月31日(水)

※これより前に入居(引越し)することはできませんので、あらかじめご了承ください。

17 その他

(1) 入学者選抜に関し、不正な行為又は虚偽の事実があった場合には、合格を取り消すことがあります。

(2) 出願書類は返却しません。

(3) 受験についての詳細は、インターネット出願サイトに掲載する「受験者心得」(受験票の2頁目以降)を参照してください。

(4) 試験開始時刻(面接及び実技検査は集合時刻)に30分を超えて遅刻した者は、その科目等の受験は認めません。

(5) 父母等関係者等の入構は、限られた場所(保護者等控室【学生食堂】)のみ認めます。特に、実技検査場付近での見学は、試験に支障をきたす恐れがありますので、「保護者等控室」で待機ください。

(6) 個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報(出願書類への記載内容及び試験成績)については、入学者選抜に係る業務(追跡調査を含む。)及び修学指導に使用します。

また、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として使用します。

(7) 学生募集要項に関し、不明な点や質問がある場合は、下記の問い合わせ先に照会してください。

なお、電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◆問い合わせ先:〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学教務課入試係

T E L 0994-46-4869

F A X 0994-46-2533

E-mail nyushi@nifs-k.ac.jp

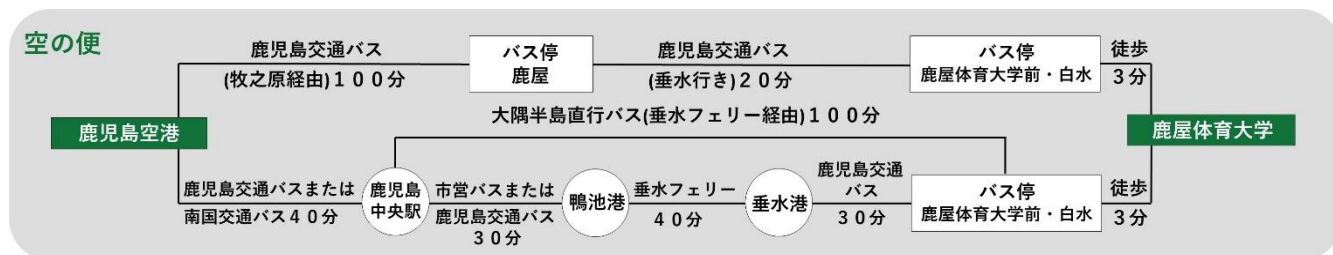
◆入試情報の提供

本学ホームページ(<https://www.nifs-k.ac.jp/>)で、入試情報等を提供しています。

なお、ホームページ上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合否照会専用サイトで確認してください。

◆本学までの主な交通経路

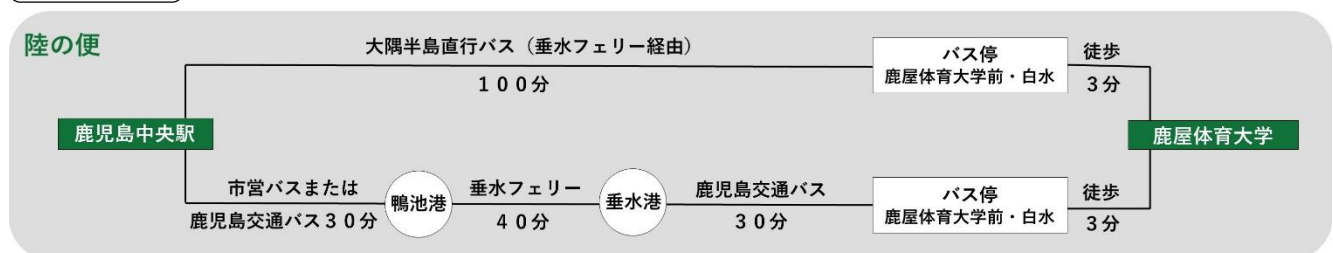
1 空の便



鹿児島空港からの経路

- ① 鹿児島空港から鹿屋市街地まで空港連絡バス(「^{かのや}鹿屋・^{ひがしかさのほら}東笠之原」行きの1系統のみ)が運行していますので、乗車し、「鹿屋」で下車してください。【所要時間 約 100分】
「鹿屋」からは「^{たるみず}垂水」又は「中央病院」行きのバスに乗り「^{しろみず}鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約 20分】
- ② 鹿児島空港から鹿児島市内行きの空港連絡バスに乗車し、「鹿児島中央駅」で下車してください。【所要時間 約 40分】
鹿児島中央駅からの経路については下記「2 陸の便」をご確認ください。【所要時間 約 100分】

2 陸の便

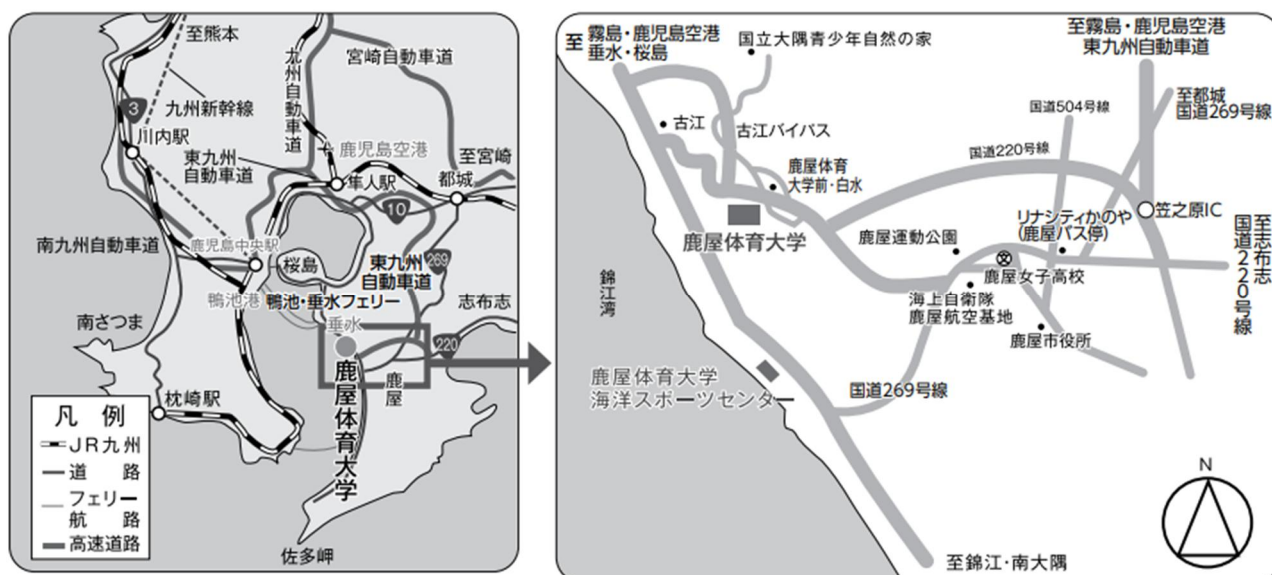


JR鹿児島中央駅からの経路

- ① JR鹿児島中央駅前から鹿児島交通のJR鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスに乗車し、「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約 100分】
- ② JR鹿児島中央駅前から鹿児島市営バス又は鹿児島交通バスの「^{かもいけこう}鴨池港」行きに乗車し、終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約 30分】
タクシーを利用した場合、JR鹿児島中央駅から鴨池港までの所要時間は約 20 分です。
下車したところが鴨池・垂水フェリー発着所となっていますので、そこから「垂水港」行きフェリーに乗船してください。【所要時間 約 40分】
垂水港からは鹿児島交通バスが接続していますので、「^{しづし}志布志」又は「東笠之原」行きに乗車し、「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約 30分】

(注)交通経路によっては、便数が限られていますので、バス等の運行状況(時刻表等)を事前に確認してください。

◆鹿屋体育大学位置図



◆入学前教育について

本学では、入学後の学力サポートを目的に、学校推薦型選抜合格者を対象とした入学前教育を実施しております。

なお、入学前教育の詳細については、令和8年12月中旬ごろに、文書にてお知らせします。

◆ノートパソコン必携化について

本学では、情報活用能力の育成と情報通信技術を活用した実践的指導力を養成するために、ノートパソコンを用いた教育や学習支援を実施しております。

なお、準備いただくノートパソコンの仕様等の詳細については、令和9年1月中旬頃に公開する入学ガイドブックをご確認ください。

◆本学が求める外国人留学生の日本語能力について

本学の授業は原則日本語で行います。従いまして、本学が求める日本語能力は、「日本語教育の参照枠」（令和3年10月12日文化審議会国語分科会）において、高度に自立して日本語を理解し使用することができる水準とされているB2以上を目安とします。

◆競技歴調書記入要領

【競技歴】

高等学校若しくは中等教育学校在学中のうち推薦要件に該当する上位3大会以内(1大会以上3大会以内)の成績・記録について成績の高い順に記入してください。なお、成績順は次の定義によります。

「上位3大会」における成績の定義

- ①国際大会の出場者及び日本選手権大会ベスト8以内の競技成績
- ②全国高校大会ベスト8以内の競技成績
- ③全国高校大会ベスト16以内の成績及びブロック大会ベスト8以内の競技成績
- ④全国高校大会及びブロック大会出場の競技成績(バスケットボール(女子), サッカー(男子), バレーボール(女子)及び野球のみ)

また、「9 特記事項」に該当する事項がある場合には、具体的に記入してください。

競技歴調書に記載した成績・記録の本人の成績・記録を証明する資料を必ず添付してください(詳細については、後述の「※成績・記録を証明する資料を添付する際の留意事項」を参照してください。)

1 大会区分

推薦要件に該当する上位3大会以内(1大会以上3大会以内)の成績・記録が該当する大会区分について(1)～(3)のいずれかの番号を記入してください。また、当該成績を証明する資料を添付してください。

(1) 国際大会

日本代表(ジュニアも含む。)として参加した大会とします。

(2) 全国大会

「学校推薦型選抜における出願要件の対象となる全国大会一覧」を参照してください。

(3) ブロック大会

「学校推薦型選抜における出願要件の対象となる全国大会一覧」の予選となる各ブロック大会(九州大会, 近畿大会, 関東大会等)及び各都道府県大会を経て出場する各ブロック大会とします。

2 大会名

本人が当該大会に登録された選手として出場した大会の正式名称(全国高等学校総合体育大会, 全国高等学校〇〇競技選手権大会, 九州高等学校〇〇競技選手権大会等)及び区分(個人・団体)を記入します。

3 開催地

記入した大会が開催された都道府県名を記入します。

4 年月日

記入した大会が開催された年月日を記入します。

5 学 年

記入した大会に出場した時の学年を記入します。

6 種目又はポジション(階級及びオーダー)

競技の種類により、次のように記入します。

(1) 個人競技

陸上競技:100m, 水泳競技:100m自由形

(2) 団体競技

サッカー:FW, バレーボール:セッター, 野球:ピッチャー

(3) 体操競技

団体総合, 個人総合, 種目別:鉄棒

(4) 武 道

柔道:個人男子60kg級, 剣道:男子団体(大将)

7 成績

優勝, 第○位, ベスト○○等の成績の順位を記入します。

8 記録

タイム, 得点, 何戦中何勝何敗等の結果を具体的に記入します。

9 特記事項

個人として優秀な成績をおさめた者(競技団体が指定した選抜選手, 強化選手, 優秀選手)の場合, 具体的に記入し, 証明する資料を添付してください。ただし, 推薦要件に該当するもののみを記入してください。

10 適性に関する所見

体育実技の分野において, 優れている点を精神面, 技術面, 体力, 将来性等について詳細に記入してください。

11 記載者

役職名, 氏名, 所在地, 学校名, 校長名は, 推薦する高等学校において, 記入してください。

※ 成績・記録を証明する資料を添付する際の留意事項

成績・記録を証明する資料とは, 本人の氏名, 成績・記録等が記載されている表彰状, 大会組織委員会発行の大会要項及び公式記録表, 新聞, 雑誌による結果発表及び国内スポーツ連盟または都道府県の加盟団体発行の成績証明書等の写しを指し, 次のとおり作成してください。

- (1) 資料はすべてA4サイズに統一し, 成績ごとにクリップ留めすること。
- (2) 本人の成績が分かる箇所には蛍光ペン(黄色)で色を付けること。
- (3) ブロック大会の競技成績を用いる場合は, 当該ブロック大会が「学校推薦型選抜における出願要件の対象となる全国大会一覧」の予選となる大会であることがわかる, 若しくは, 各都道府県大会を経て出場する大会であることが分かる資料(大会要項等)を必ず添付すること。
- (4) 団体戦の結果を証明する場合は, トーナメント表及び本人が出場したことがわかる公式記録等を添付すること。バレーボールのリベロについては, 1回戦から順位が確定するまでのすべての試合に出場したことがわかる証明書等(大会を運営する協会等が発行する証明書)の書類を提出すること。
また, 公式記録については1回戦から順位が確定するまでのすべてのものを添付すること。
- (5) 添付する書類は, 競技歴調書に記載した成績に限る(推薦要件に該当しない資料は添付しない。)こと。
また, 書類は必要最低限とすること(例えば, 雑誌の記事を添付する場合は, 表紙と該当する頁のみとする等)。
なお, 新聞や雑誌の記事には, 新聞・雑誌名, 日付, 頁等を記載すること。

◎学校推薦型選抜における出願要件の対象となる全国大会一覧

競 技		大 会 名
共 通		・全日本選手権大会 ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ・国民スポーツ大会（なお、陸上競技及び水泳については、「少年A」、バレーボールについては「少年・女子6人制」を対象とします。）
陸 上 競 技		・日本陸上競技選手権大会・室内競技（年齢制限なし・U20） ・日本陸上競技選手権大会・リレー競技 ・全国高等学校駅伝競走大会 ・U20日本陸上競技選手権大会 ・全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 ・全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
体 操 競 技		・全国高等学校体操競技選抜大会 ・全日本ジュニア体操競技選手権大会 ・ユースオリンピックゲームズ日本代表決定競技会 ・体操個人総合スーパーファイナル ・世界ジュニア体操競技選手権大会日本代表決定競技会（男子）
水 泳		・日本選手権（25m）水泳競技大会 ・ジャパンオープン ・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
バスケットボール （ 女 子 ）		・全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）
サ ッ カ ー （ 男 子 ）		・高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ファイナル ・全日本クラブユースサッカー選手権大会 ・全国高校サッカー選手権大会
テ ニ ス		・全国選抜高等学校テニス大会 ・全日本ジュニアテニス選手権（18歳以下の部を対象とします。） ・JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
バ レ ー ボ ー ル （ 女 子 ）		・全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）
野 球		・全国高等学校野球選手権大会 ・選抜高等学校野球大会 ・明治神宮野球大会
海 洋 ス ポ ー ツ （セー リング）	ヨ ッ ト	・JOCジュニアオリンピックカップ（ユース部門）
	ボ ー ド セ ー リング	・ワールドセーリングユースワールドセーリングチャンピオンシップ日本代表選手選考レース
海 洋 ス ポ ー ツ （ロー イング）	ボ ー ト	・全国高等学校選抜ローイング大会／ JOCジュニアオリンピックカップ大会 ・全日本新人ローイング選手権大会
	カ ヌ ー	・文部科学大臣杯日本カヌースプリントジュニア選手権大会（学年別ベストナイン認定は該当しません。） ・日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会
自 転 車 競 技		・全日本選手権大会トラック・レース（ジュニア） ・全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会（U17の部は対象としません。） ・全日本自転車競技選手権大会ロード・レース（U17の部は対象としません。） ・全国高等学校選抜自転車競技大会 ・全国都道府県対抗自転車競技大会
柔 道		・金鷲旗高校柔道大会 ・全国高等学校柔道選手権大会 ・全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 ・全日本カデ柔道体重別選手権大会
剣 道		・全日本都道府県対抗剣道優勝大会 ・全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 ・玉竜旗高校剣道大会 ・全国高等学校剣道選抜大会

※主催者の都合により上記大会の名称が一部変更になることがありますが、同一の大会であれば対象の大会として取り扱うこととします。

◆推薦書記入要領

学業、人物、課外活動、生活態度等の欄には、ただ単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評的・抽象的な記入ではなく、より具体的に、事実に基づき記入してください。

1 学業

授業中における態度、勉学の自発性、計画性、持続性、理解力及び創造的思考能力等について具体的に記入してください。

2 人物

行動及び性格について、具体的に記入してください。

3 課外活動

生徒会活動、スポーツ・文化活動、ボランティア活動の諸活動について本人の役割、役職名及び活動状況等を学年別に記入してください。

4 生活態度等

本人の生活態度、健康状況、趣味、特技等について記入してください。